

# ARCHITREND リフォームエディション Ver.5 の新機能

共通	
64ビット版アプリに対応	1
「建ぺい率」から「建蔽率」に表記変更	1
用途地域「田園住居地域」の追加対応	2
枠のないドアや引戸の立体表現に対応	2
部品の部分伸縮に対応	2
平面	
設定した造作棚のマスタ登録に対応	2

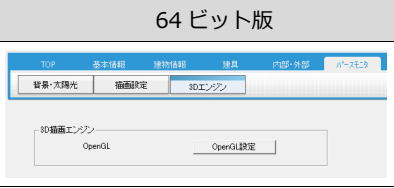
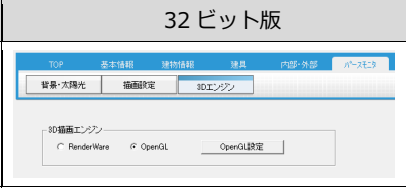
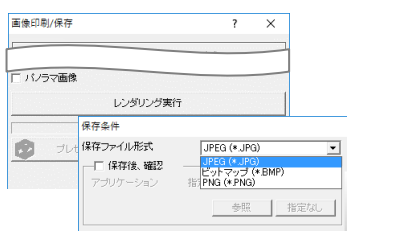
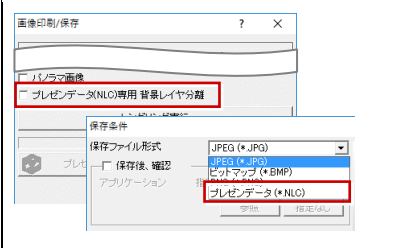
パース	
シングル/マルチスレッドの切り替えを自動化	3
スマホ VR に対応	3
文字・寸法	
計算式の文字列配置に対応	3
通り芯連続入力で、X方向Y方向の常時入力に対応	3
汎用図形のトラッカー変形に対応	4
見積	
項目の単価判定方式変更に対応	4

## 共通

### 64ビット版に対応

64ビット OS で搭載メモリを有効活用できる 64 ビット版アプリに対応しました。搭載メモリを最大限に利用でき、クオリティの高いパースの作成や VR 出力などをより快適に操作できます。

#### ■ 32ビット版との主な違い

	64ビット版	32ビット版
64ビット版では3D描画にOpenGLを使用します。「基本設定：3D描画エンジン」のRenderWare切り替えは表示されません。		
64ビット版ではプレゼンパック連携に対応しないため、「画像印刷/保存」ダイアログNLCファイルに関する設定は表示されません。		

### 建ぺい率の表記変更

都市計画法・建築基準法の改正に伴い「建ぺい率」を「建蔽率」と表記するようになりました。  
今回の法改正により、法律用語としては漢字の「建蔽率」になりました。



### 用途地域「田園住居地域」

法改正により新設された用途地域「田園住居地域」を追加しました。

都市計画法・建築基準法の改正に対応しました。



【設定：建物情報 - 建築事項】

### 3D カタログ建具：室内建具隠し枠

天井まで建具があるような、枠がないドア、引き戸に対応しました。枠なし表現が可能になり、パースの表現力がアップします。

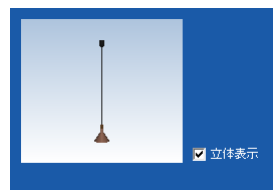
※ メーカーから提供される建材のみ対応可能です。



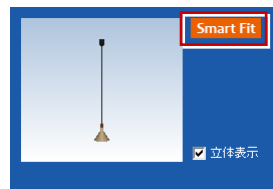
### 3D カタログ部品：部品の伸縮

部分伸縮部品に対応しました。属性変更でサイズを変えた時に、ペンダント照明のコード部分のみが伸縮します。

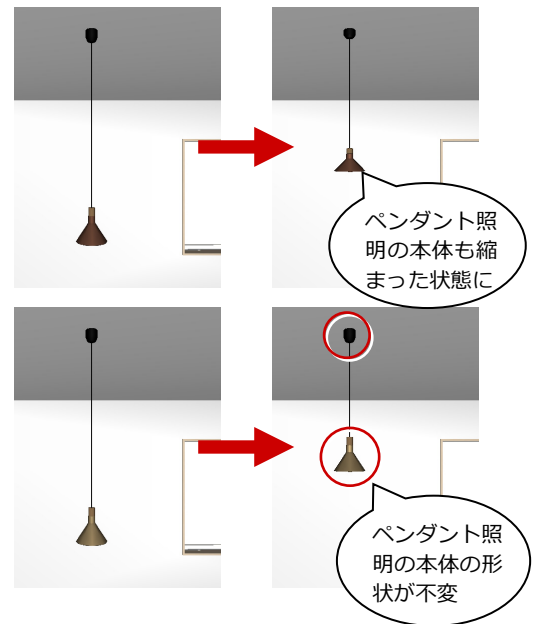
※ Smart Fit 部品のみ上記の表現が可能です。



【通常の部品】



【Smart fit 部品】

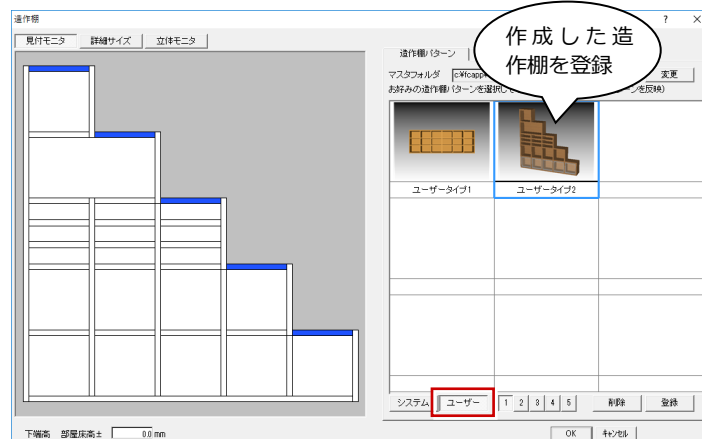


## 平面

### 設定した造作棚のパターン登録

設定した造作棚の組み合わせパターンをマスタに登録できるようにしました。

よく使用するパターンの造作棚をマスタに登録することで、同じ造作棚をすばやく入力できるようになります。



# パース

## 基本設定：レンダリング設定自動化

レンダリング時のシングルスレッド/マルチスレッドの切り替えを自動で行うようにしました。  
PC の環境に応じた最適なパフォーマンスを発揮できます。

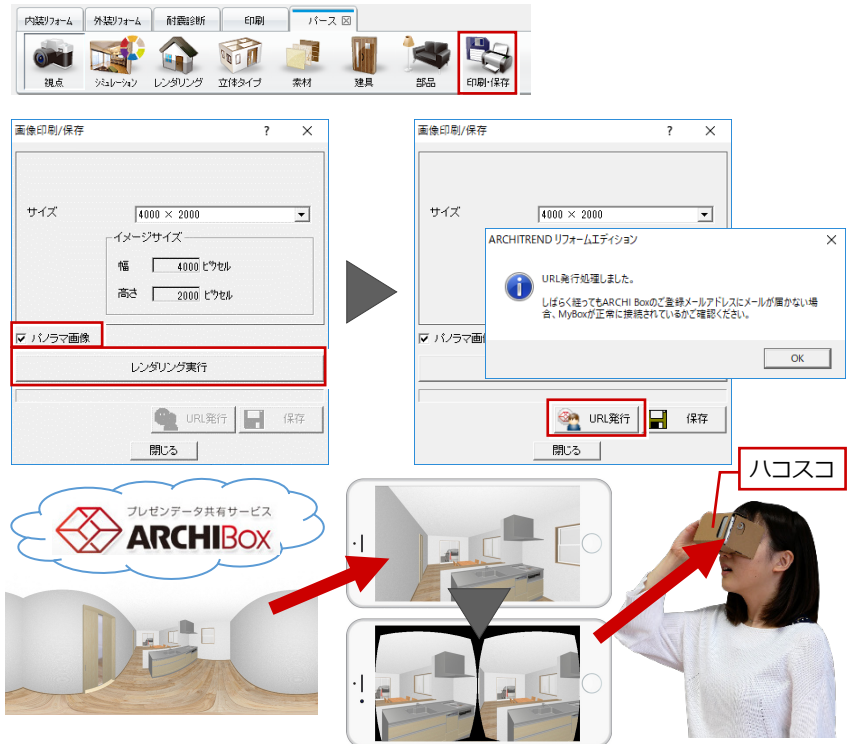
## VR データ：スマホ VR 対応

お施主様がスマホ VR を閲覧できる環境を簡単に準備できるようになりました。スマートフォンとハコスコを使った VR 体験を手軽に行えます。

※ ARCHI Box の別途契約が必要です。

### ■ スマホ VR の流れ

1. パノラマ画像を作成し、「URL 発行」をクリックします。
2. ARCHI Box サイトにパノラマ画像がアップロードされ、アップロード先の URL がメールで届きます。
3. パノラマ画像の URL をお施主様にメールで送信します。
4. スマートフォンとハコスコを使って、VR 体験を行います。

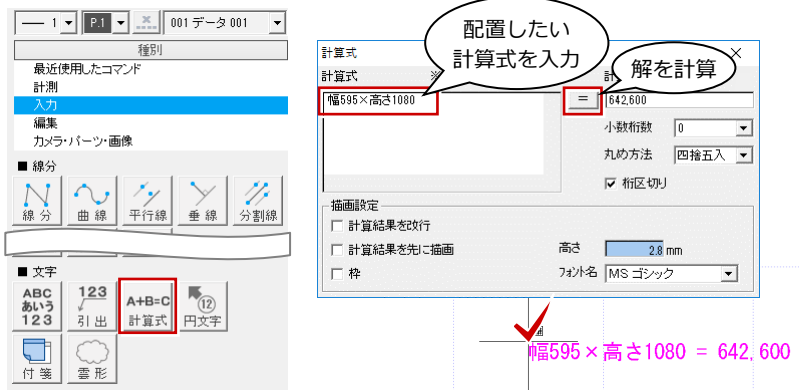


# 文字・寸法

## 文字：計算式の配置

汎用コマンドで計算式を配置できるようになりました。入力した計算式から四則演算の解を求め、計算式と解を文字列として配置できます。

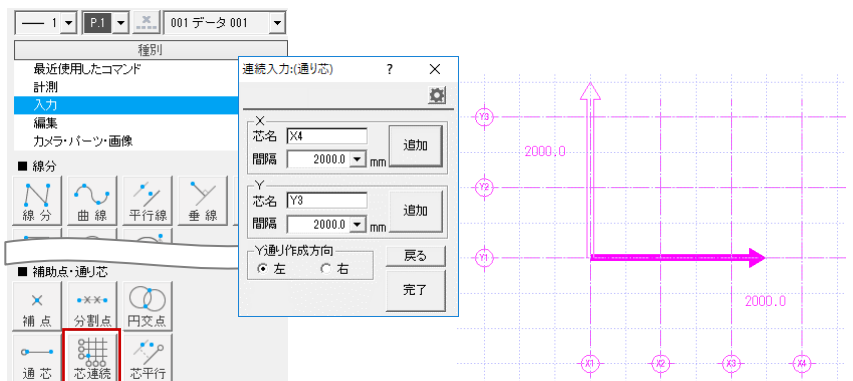
※ 計算式を入力して「=」を押したとき、計算に不要な文字を省いて解を計算します。  
計算に使用する文字は、0~9 の数字と「+」「-」「\*」「×」「/」「÷」「( )」「.」のみです (全角も使用可)。



## 通り芯：連続入力の拡張

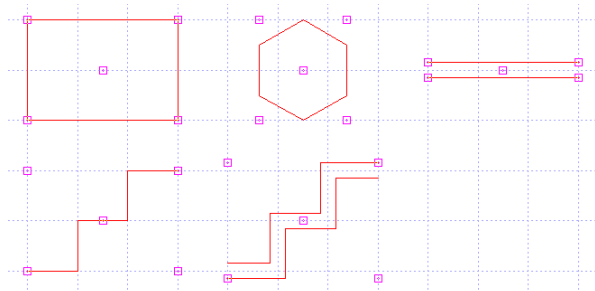
通り芯の連続入力、今までは X 方向の入力後に Y 方向の入力に移りましたが、X 方向と Y 方向 をどちらも常に入力できるようになりました。

入力手間が軽減されます。

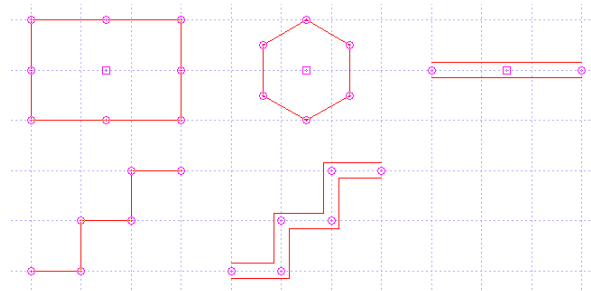


## 図形：トラッカー変形

入力した汎用図形（矩形・正多角形・連続線・複線・連続複線）を選択したときのトラッカー表示を変更し、トラッカーでの形状編集を可能にしました。再入力の必要がなく、編集が容易になります。



【従来】



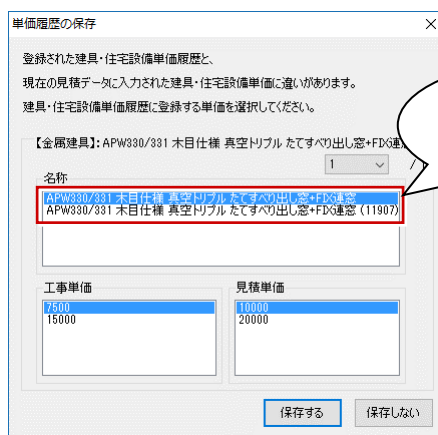
【ZERO Ver.5】

## 見積

### 項目の単価判定方法変更に対応

項目の単価判定方法を変更しました。その対応に伴い、単価登録時の選択画面に「名称」を追加し、単価履歴に保存できる名称を選択できるようにしました。

カタログに掲載された記号が品名に設定されるサッシから正しい品名が取得できるようになります。



工事、見積単価が異なる場合、登録する単価情報を選択